



【バンクーバー新朝日軍との親善試合の様子】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 3 月 29 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

市内小学生が科学探査船タラ号 の見学をしました

横浜港に寄港（3月14日～20日）していたフランスの科学調査船タラ号の船内を、市立永田台小学校（4、5、6年生）幸ヶ谷小学校5年生の児童が見学しました。

乗船した児童達に対して、クルーの方は実物のサンゴを見せながら、タラ号が取り組む環境保全調査などの説明を行い、子どもたちは興味深く聞き入っていました。

未来を生きる若い世代にとって、今、地球で起きている温暖化や環境汚染について考える貴重な経験となりました。

※『タラ号』は、環境汚染や、気候変動に直面するサンゴ礁の生物多様性を調査するフランスの科学探査船です。



（タラ号船員の説明を受ける小学生）

バンクーバー新朝日軍と市内少年 野球チームが親善試合を行いました

バンクーバーの日系少年野球チーム「バンクーバー新朝日軍」が2年振りに横浜を再訪する機会を捉え、横浜バンクーバー友好委員会が中心となり、バンクーバー新朝日軍と市内の少年野球チームが親善交流を行いました。

バンクーバー新朝日軍は、バンクーバーでかつて活躍した日系人野球チーム「バンクーバー朝日軍」創立から100年となる2014年に結成された少年野球チームです。

24日の合同練習、交流会に続き、25日には横浜スタジアムで市内の横浜南ボーイズ、横浜泉リトルシニアと交流試合を行いました。試合は、見事、新朝日軍の2連勝となりましたが、全力で白球を追う3チームのフェアプレー精神あふれる姿に、大きな声援と喝さいが送られました。



（親善試合の様子）

世界銀行主催の都市開発に関する 国際会議に出席しました

3月20～24日に渡って、ワシントンDCの世界銀行本部で“Land and Poverty Conference 2017”が開催され、世界銀行からの招聘を受けて本市都市整備局、国際局職員が出席しました。

今回で18回目を迎え、1,700人を超える参加者が集った同会議において、開発利益の還元をテーマにしたセッションに都市整備局職員が参加し、「港北ニュータウン」の開発実績について講演しました。

「港北ニュータウン開発」と「市営地下鉄整備」の開発実績を紹介し、公共交通と一体となった計画的なエリア開発をどのように進めたか、そして開発によって税収効果としてどのような還元がもたらされたか、についてパネルディスカッションを行いました。



（職員による講演の様子）